

## 平成28年度 長野県下伊那農業高等学校 学校評価表(年度末評価)

学校教育目標	中・長期的目標		
	<p>○ 農業や関連産業の振興はもとより、地域社会・文化の担い手として貢献できる人材を育成する。</p> <p>○ 農業の持つ教育力を最大限活用し、知・徳・体の調和のとれた人格を形成する。</p>		
	重点目標	評価(記述)	評価
一 質実・剛健	1 環境教育等農業高校の特徴を生かした新たな取り組みの実践。	1 郷土の景観保全、環境保全型農業、資源の有効活用等の農業高校の特徴を生かした、新たな学習・研究活動を積極的に行うことが出来た。	A
一 誠実・堪能	2 生徒の可能性を広げる学習の実践。	2 概ね希望する進路実現を支援することができた。基礎学力の定着と伸長を図る支援は、家庭学習等を含め、さらなる工夫と努力が必要である。	B
一 積極・真摯	3 地域社会に貢献し、信頼される学校づくりの実践。	3 各学科の学習や特別活動等とおして、地域貢献や地域と連携・協働した教育活動を推進することができた。地域からの評価・期待も高まっている。	A
	4 本校の良き伝統・慣習を継承した教育活動の実践。	4 就職者の約95%が地元就職するなど、地域に根ざし、地域の農業・産業を担う社会人を育成する本校の使命・伝統を踏まえた教育活動を実践することができた。今後、県外の大学・専門学校等へ進学する生徒のUターンへの働きかけ・動機付けに努めたい。	A
	5 あらゆる教育場面での安全教育の実践。	5 学校生活全般、実験・実習、班活動等において、安全教育に心がけ、重大な学校事故等を防ぐことができた。今後、登下校中の安全確保や学校関係者以外の侵入等に留意した安全確保・安全教育のさらなる実践が必要である。	B
	6 互いを尊重する心を育て、健全で充実した高校生活を送るための環境づくりの実践。	6 本校で成長できたと感じている生徒が約8割、本校へ子どもが入学して良かったと感じている保護者が約9割である。概ね充実した学校生活を送るための環境づくりが実践できている。今後、学校生活が充実していないと感じている1割から2割の生徒・保護者に寄り添った教育活動を丁寧に進めていきたい。	B

<A:達成できた B:概ね達成できた C:不十分であった>